

## ◆講座5 現代の政治理論の争点—デモクラシーの今日的条件を考える

【講師】杉田 敦先生（法政大学）、川崎 修先生（立教大学）、宮島 喬先生（法政大学）

【時間】毎回 10：30～12：00 【定員】72名

【受講料】2年会員 8,000円、1年会員 9,000円、聴講生 12,000円

【概要】私たちの社会はいま、どのような問題に直面しているのか。デモクラシー、権力、正義、市民権という基礎的で、重要なトピックを軸にして、政治論の最新の成果を紹介する。例として、身近な地域政治から国際政治にまでおよぶ具体的な政治問題に触れ、理解を深めてもらう。

### 【各回の内容】

回	月/日(曜)	学習内容	講師(敬称略)
1	4/11(月)	思想と制度 (デモクラシー1)	法政大学教授 杉田 敦
2	4/18(月)	討議民主主義 (デモクラシー2)	
3	5/9(月)	ポピュリズム論 (デモクラシー3)	
4	5/16(月)	公正としての正義(正義1)	
5	5/23(月)	不正義をめぐって(正義2)	
6	5/30(月)	グローバル正義論(正義3)	
7	6/6(月)	非対称的権力 (権力1)	立教大学教授 川崎 修
8	6/13(月)	共同的権力 (権力2)	
9	6/20(月)	構造としての権力(権力3)	
10	6/27(月)	ナショナルルートナショナル(新しい市民権1)	法政大学教授 宮島 喬
11	7/4(月)	多文化化 (新しい市民権2)	
12	7/11(月)	討議：政治理論の可能性	杉田 敦・川崎 修

※最終回は講義全体を振り返りながら、政治と政治理論のこれからを展望します。

## ◆WS-3 生活原理に立って政治を考える

【講師】宮島 喬先生（法政大学）、杉田 敦先生（法政大学）、川崎 修先生（立教大学）

【時間】毎回 13：00～15：00 【定員】30名

【受講料】会員・聴講生ともに 12,000円

【概要】戦後の日本社会の発展のなかで生活に密接にかかわる様々な社会問題が提起され、政治的解決の課題とされた。それは福祉、経済成長、公害、住民参加、環境破壊、外国人と人権など多岐にわたる。これらを振り返りながら、「社会」と「政治」がどのように関わったかを考えてみたい。

### 【各回の内容】

回	月/日(月)	学習内容	講師(敬称略)
1	4/11(月)	戦後社会と社会・政治意識	法政大学教授 宮島 喬
2	4/18(月)	生存権と福祉	
3	5/9(月)	世論とは何か	
4	5/16(月)	日本の政治とポピュリズム	法政大学教授 杉田 敦
5	5/23(月)	住民参加のチャンネル	法政大学教授 宮島 喬
6	5/30(月)	政治における公正	法政大学教授 杉田 敦
7	6/6(月)	権力と日常性	立教大学教授 川崎 修
8	6/13(月)	受益圏と受苦圏(公害と地域住民)	法政大学教授 宮島 喬
9	6/20(月)	グローバル化と日本	
10	6/27(月)	外国人市民	
11	7/4(月)	ジェンダー、多様化する家族	
12	7/11(月)	生活原理から政治を問う [質疑を中心に]	杉田 敦、川崎 修、宮島 喬

※篠原 一『市民の政治学』、今井 一『住民投票』、宮島 喬『ヨーロッパ市民の誕生』(いずれも岩波新書)などを読むことを考えているが、開講時に皆さんと相談しながら決めていきたい。